

少し言わせて下さい。

藤崎伸太

あまりにも有名になった綿貫幹事長の「透析医療費1人年700万円、全国の透析患者12万人の医療費は国の丸抱えだ…、ゴルフでもして体を鍛え病気をしないように…」こんな認識不足の政治家が政府与党の幹事長と言うだけでも、この国の政治感覚が問われる。

海外で盆休みを過ぎた人が、今年は最高の数になったというほど日本は人生を楽しむ時代、しかし、外見だけ豊かと思われる国に、湾岸戦争90億ドルもの膨大な負担をはじめ、従軍慰安婦、強制連行の補償など、およそ20項目近い外国からの補償要求、さらに外務大臣はじめ政府高官に安易な有償、無償の借款供与約束など、この身分不相応とさえ思われる出費をどうするのか。これらの出費は、国民の負担であることに違いあるまい。しかし、宮沢首相はじめ政治家は、格好いいことばかり言っているが、果たしてそんなに余裕があるのだろうか。少くとも、国民に補償清算のため、少しぐらいいは耐乏生活を求めるぐらいいの勇気をもってもらいたいと思うが如何なものか…。

これは透析費のことなどを持ち出す以前の問題である。

まさか、海外補償費などで出費が多くなったからと、あわてて万事節約で、透析医療費も減らしますなどとは決して言われたいとは思わないのだが、今の永田町のドタバタ劇を見ていると、信用するのは無理なことかと思われる。なにせ強者には弱く、弱者には強い永田町の体質だから……。

佐賀県内透析医会員19、透析患者数71、平成4年4月佐賀県腎バンク設立、透析医会員の協力大なるものあり。